

(別 添)

「CO₂排出削減に資するICT研究開発課題」 募集への提案

標記について、様式1から様式3のとおり提案いたします。

提案日	平成19年 月 日
提案者	(ふりがな) 提案者氏名： (ふりがな) 所属・部署名： 住所：〒 — 電話番号： — — FAX 番号： — — 電子メールアドレス： @
連絡担当者 (提案者と同じ場合には記入の必要はありません。)	(ふりがな) 連絡担当者氏名： (ふりがな) 所属・部署名： 住所：〒 — 電話番号： — — FAX 番号： — — 電子メールアドレス： @
備考	
整理番号	(総務省にて記入)

様式1

青字は、記入例や記入に関する説明です。
ご提出時には削除してください。

《提案依頼事項（1）》 CO₂排出削減が実現された社会の将来イメージ及びその実現に向けた課題

①「生産・流通・輸送」での利用シーン

(1-1) CO ₂ 排出削減が実現された 2030 年頃の社会のイメージ(説明文)	(1-2) 左記イメージの実現にあたっての課題
(イメージの説明文を記述して下さい。)	(イメージの実現にあたっての課題を記述して下さい。)

整理番号:(総務省にて記入)

①「生産・流通・輸送」での利用シーン

(1-1) CO₂排出削減が実現された 2030 年頃の社会のイメージ(イラスト)

(イメージのイラストを記載して下さい。)

整理番号:(総務省にて記入)

②「事務所・店舗」での利用シーン

(1-1) CO ₂ 排出削減が実現された 2030 年頃の社会のイメージ(説明文)	(1-2) 左記イメージの実現にあたっての課題
(イメージの説明文を記述して下さい。)	(イメージの実現にあたっての課題を記述して下さい。)

整理番号:(総務省にて記入)

②「事務所・店舗」での利用シーン

(1-1) CO₂排出削減が実現された 2030 年頃の社会のイメージ(イラスト)

(イメージのイラストを記載して下さい。)

整理番号:(総務省にて記入)

③「一般家庭」での利用シーン

(1-1) CO ₂ 排出削減が実現された 2030 年頃の社会のイメージ(説明文)	(1-2) 左記イメージの実現にあたっての課題
(イメージの説明文を記述して下さい。)	(イメージの実現にあたっての課題を記述して下さい。)

整理番号:(総務省にて記入)

③「一般家庭」での利用シーン

(1-1) CO₂排出削減が実現された 2030 年頃の社会のイメージ(イラスト)

(イメージのイラストを記載して下さい。)

整理番号:(総務省にて記入)

青字は、記入例や記入に関する説明です。
ご提出時には削除してください。

様式 3

《提案依頼事項 (3)》 ICT システムを実現するための要素技術

●ICT システム名 ○○○システム	(3-1) 要素技術名 △△△技術
(3-2) 当該要素技術の概要 当該要素技術の概要を記述してください。	
(3-3) 当該要素技術の研究開発目標 2030 年までの間の適当な時期(例えば、2010 年、2015 年、2020 年、2025 年、2030 年)において目標とする内容を記述して下さい。	
(3-4) CO ₂ 排出削減に資する効果 当該要素技術やそれを包含するICTシステムの実現によって得られる効果を記述して下さい。直接的なCO ₂ 排出削減割合(「○%削減」)の他、例えば、「人の移動が削減」や「照明の点灯時間が削減」などの記述も可能です。	
(3-5) 当該要素技術の動向等 以下の項目に関して、可能な範囲でご提案ください。 ・我が国の研究開発水準(◎:日本が先行、○:諸外国と拮抗、×:諸外国が先行) ・現在の研究段階(基礎・開発・実用の3段階で記載) ・海外の研究動向 ・研究開発要素の技術的難易度(難、やや難、標準、やや易、易) ・研究開発に必要な資金(概算)(官民の合計) ・将来の市場規模(予測)(国内及び海外の予想市場規模) ・推進主体(研究開発主体及び資金提供主体について、「国」又は「民間」で記載) ・推進方策(産学官の分担・連携方策、国際的な連携方策) ・実施の優先度(A(優先度大):我が国として最優先で取組む、B(優先度やや大):我が国として優先的に取組む、C(継続実施):現状の取組を継続的に維持、D(優先度低):他の研究開発の方が優先、E(実施しない):実施の必要なし)	

整理番号:(総務省にて記入)

※必要に応じて、ページを追加してください。